

## 簡単に諦めないこと

李萌虹

李萌虹と申します。北国の出身で浙江省育ちです。2015年6月、蘭州交通大学を卒業後、亜細亜友之会外語学院に入学しました。先生方のご指導のおかげで、上智大学大学院地球環境学研究科に合格しました。

日本に来て一番下のレベルのクラスに入れられました。良い大学院に進学したいと思って、必死に日本語を勉強しました。授業以外の時間は殆ど毎日自習して、模擬試験の問題を解いて、半年後、能力試験N2を受験し、見事に合格しました。これは日本に来てから最初の収穫かもしれません。

中国の大学で土木工程専攻を勉強していました。日本に来た当初は、日本の大学院で土木についての研究テーマを続けたいと考えていました。しかし、日本語を勉強しているうちに、土木から少しずつ離れて、最終的には土木に全く興味がなくなりました。担任の先生はずっと私のことを心配して下さって、少し勉強すればまた興味が湧いてくるとおっしゃって下さいました。しかし、ずっとそのまま研究テーマを決められずに、半年が経ってしまいました。

大学院進学はもう無理だと思って、適当に専門学校に入ればと考えるようになりました。私の状況を聞いた石川先生は、熱心に色々な先輩の進学の例を教えてください、ずっと私を励まして下さいました。その後、自分も色々資料を調べて、ようやく前から興味がある環境の分野にチャレンジすることを決心しました。しかし、その時は既に12月で、第一期の受験がほぼ終わり、第二期の出願も始まっていました。志望校を絞れずに悩んでいる時に、先生方に上智大学大学院地球環境学研究科の情報を教えて頂きました。出願期限まで2週間、試験まで1ヶ月半というぎりぎりのタイミングで出願することにしました。1ヶ月半の猛勉強で、何とか合格を獲得し、まるで夢のようでした。

色々な挫折があって、最終的には運がよく合格できた私の受験経験を3点にまとめました。皆さんの役に立てればと思います。

1) 研究計画書はできるだけ早く用意することです。院進クラスに入った時点で、担任の先生方から何回も催促されたけれども、ずっと、ずるずると延ばしてきた自分はとても後悔しています。国立大学に合格できた同級生は皆夏休み明け位に、研究計画書を書き上げていたし、何回も何回も修正を重ねたようです。

2) 進路に関して何か戸惑ったら、必ず先生からアドバイスをもらうことです。自分一人で悩んで時間を無駄にするよりは、進学指導の経験が豊富な先生方と相談して、何か意見をもらえたほうが良いと思います。

3) 絶対簡単に諦めないことです。1ヶ月間の勉強で合格できたなんて自分も最初は信じられませんでした。しかし、奇跡が本当に起こりました。

人生の曲がり角で正しい方向を示してくださった石川先生、何回も面接練習をして下さった先生方、ボロボロだった研究計画書を完璧なものに直して下さいました先生方、本当にありがとうございました。